



# 定住外国人子ども奨学金 News Letter

※定住外国人子ども奨学金ニュースレターWeb版は個人情報などの都合上、内容を一部変更しています。

## 第 5 回 KOBE カンタービレ・コンサートを新長田ピフレホールで開催！

11 月 4 日（月）新長田勤労市民センター・ピフレホールで第 5 回 KOBE カンタービレ・コンサートを開催しました。このコンサートは、定住外国人子ども奨学金の資金集めと奨学金を広く市民の皆さんに知っていただくことを目的として、2009 年から毎年開催しています。

今年は、昨年のコンサートで大変好評であったクラリネット奏者の青山秀直さんが、弟の映道さんを含むクラリネット四重奏団アンサンブル・ソノリテを率いてご出演くださいました。

「剣の舞」「星条旗よ永遠なれ」などのクラシック曲から、「見上げてごらん夜の星を」「クラリネットをこわしちゃった」などポピュラーな曲まで、アンコールの「クラリネット・ポルカ」を含む全 12 曲を演奏され、来場者はクラリネット 4 本だけとは思えない深いハーモニー、時にはクラリネット同士が対話するようなりズミカルな旋律など、豊かな響きを堪能しました。

また、曲間の青山さんの軽妙なトークも好評で、クラリネットという楽器の仕組みについてもわかりやすく解説していただきました。

コンサートの後半・第二部の最初には奨学生が登壇し、勉強や部活動など一人ひとりの学生が今がんばっていること、将来の夢・希望などをステージで披露しました。しっかりと目標をもって学生生活を送っている奨学生に会場からは温かい拍手が送られました。

会場には昨年を上回る 312 名に来場いただき、KFC 帰国者新長田交流会に参加している中国残留邦人帰国者の方々にも素敵な音楽を楽しんでいただきました。また、大阪コミュニティ財団柏岡精三記念基金から助成をいただき、多くの団体、企業等から賛助広告をよせていただいた結果、約 100 万円を奨学金の原資として積み立てることができました。この額は奨学生 9 人の 7 か月分の奨学金に相当します。

協力、後援、協賛をいただきました多くの皆様、また会場に足を運んでいただいた皆様にあらためて感謝を申し上げるとともに、様々な「ルーツ」をもつ奨学生それぞれの夢を応援するために、引き続き奨学金とコンサートにご協力いただきますようお願いいたします。

（実行委員 N. S.）

## 奨学生からのメッセージ

### Kさん (6 期生)

#### 『Dia de reyes』

私がルーツをもつメキシコでは、子どもたちは、冬に二つのお楽しみがあります。

一つは、日本でも行われるクリスマス。子どもの楽しみは、サンタクロースからのプレゼントです。この日のために多くの子ども達は良い子に過ごそうと必死です。私の経験でも普段は「いいかげんにしなさい」という怒り文句が、この時期は「サンタさん来ないよ」に変わっていました。しかし、プレゼントを貰えば、こっちのものです。気をぬいて、好きなだけ遊ぶことができます。しかし、メキシコではそうもいきません。

もう一つの楽しみは、1月6日。レジェスマゴス（東方の三賢者）が、プレゼントを持って来てくれるのです。この伝統は、キリスト教の影響のものです。12月24日に誕生したキリストへ多くの人々がプレゼントを届けたそうです。レジェスマゴスもプレゼントを届けるのですが、遠くから来ているので、1月6日になったのです。そして、キリストだけでなく他の子どもにもプレゼントを届けてくれることから始まりました。クリスマスより後なので、サンタさんからのプレゼントで、浮かれ過ぎしまうと二つ目の楽しみが、なくなってしまうかもしれないのです。その分プレゼントを多く貰えるのであまり苦痛ではありませんでした。

サンタさんとレジェスマゴスでは、違いがいくつかあります。一番は、サンタさんは一人でレジェスマゴスは、メルチュル、ガスパル、バルタサルの三人です。何がほしいか、書いた手紙を置く場所も違います。サンタさんはくつ下の中ですが、レジェスマゴスは、くつの上と風船にくくり付けてとばすのです。

私の家系では、プレゼントを見つけたら、一番におばあちゃんへ電話していました。そして、次の週末にいとこ達とそれぞれのおもちゃを持って、おばあちゃんの家集合していました。

日本に来て、クリスマスが私の中で目立つ行事になり、クリスマスの良さが分かりました。けれども、やっぱり12月24日より1月6日の方が、どこか心暖まる日付けです。誕生日よりも思い出深い日にちです。メキシコでは、レジェスマゴスの日が小さくなってきています。私が経験したこの素敵な伝統を残すため、もし将来子どもができたなら、受け継ぎたいと思います。

### Nさん (6 期生)

#### 『いよいよ二学期も…』

最近少しずつ寒くなりました。ということは冬が来て、お正月が近づいてきた。

二学期はいろんなことがありました。一つずつ話をしたいと思います。

まず文化祭です。「小さな恋の歌」を合唱しました。クラスに16人しかいないので、声がとどかないことをみんなが心配していました。日々の勉強も忙しくて、なかなか時間がとれませんでしたけれども、朝練をしたり、昼休みを使ったり、精一杯練習しました。おかげで、本番で上手に歌えたと思います。次にテストです。まだ高一なので、人によっていろいろで大変だよと言っても、なかなか理解できない人がほとんどだと思います。簡単にいうと、文理選択があって、来年のコースを決めるための試験、進研模試、それに定期考査です。テスト勉強が次々と続き、毎日が時間との勝負みたいで、忙しいです。いろいろなテストを受けていく中で、あることに気づきました。

それは国語の偏差値がこのままでは志望校に合格できないということがわかりました。ちなみに、志望校は神戸大学ですが、私は今の段階で偏差値50以下です。

ある先生から聞いた話ですが、国公立大学の中で神戸大学あるいは神戸大学よりもレベルが高い国公立大学では、国語の配点が高いそうです。なぜ高いかというと大学四年間でいろいろな論文を書いたり、研究会を開いたりするからです。だから、国語の力がないとこういったことがうまくできませ

ん。

大学入試を考えてみると急にとてもあせります。もしセンター試験で失敗したら、合格することはとても難しくなります。なので、国語の点数を上げるために、本屋に行って、現代文についての資料集、問題集を買いました。どれも大学入試向けで、一番簡単な基本問題です。それらで勉強して、普段からも本を読んで、なんとか国語の力を高めていきたいと思います。

残り約 2 年の高校生活は、長いようであつという間に経ってしまいます。限られた時間で、効率よく勉強したいです。

## Yさん (6 期生)

### 『文理選択を通して』

高校一年二学期後半になると、文理選択を迫られます。「自分に合う仕事」、「自分が好きになれるような仕事」を考える日々が続きました。

そこで、自分は絵を描くことや、美しい風景やデザイン、建物を眺めることが好きで、夢中にさせてくれることに気づき、それを建築と結びつけようと思いました。美術的でユニーク、かつ住みやすい建物を設計したり、客の要望に沿った居心地の良い空間を思い描きながら設計できれば、毎日が充実したものになるだろうと思いました。

文理選択で「理系」を選択するにあたって、担任の先生との二者面談がありました。その時に、先生に言われて心に響いたのは、「建築業界は仕事が回ってこない」「アイデアがないと生き残れない」「覚悟はできるのか」の三つのフレーズでした。

初めの二つは、衝撃的でした。せっかく自分の好きなことを仕事にできると思ったのに、生活が安定しにくいと知るとがっかりしました。しかし、どの仕事も大変であることに変わりはなく、給料面などに違いはあれども、自分の好きなことを仕事にできれば、やりがいや生きがいを持って生活できるだろうと思いました。大企業に就職できた人でも、生きがいややりがいを感じられずに転職をしてしまうケースもあるそうです。大体の仕事は、特別な気持ちがなくても、それに打ち込んでいけば、次第にその仕事が好きになり、誇りややりがいを感じると思います。

しかし、好きなことがあるのに、それを仕事にしようとせず、お金だけを見て意志を曲げるようでは、悲しいと思います。先生の「覚悟はできているのか」の一言には自信を持って「ハイ」と答えることができると思います。

今の自分は、建築士を志したばかりで、はっきりとした目標が定まっていますががんばっています。それでも大学のことで分からないことはたくさんあります。自分の進路なんだから、自ら調べ、一年後の受験生のもつプレッシャーに負けないためにも、後悔のない選択をしたいです。

## Oさん (5 期生)

### 『住んでいる街』

今住んでいる街は、兵庫県姫路市です。私は、ベトナム人ですが日本で生まれ日本で育ちました。私が生まれた所は、兵庫県姫路市です。私は、ずっとずっとこの街に住んでいます。なので、私はこの街がとても大好きです。大好きな理由は、この街で私が生まれたのと、この街のイベントがとてもにぎやかでたのしいこととずっとこの街に住んでいるからです。

姫路市では、まず 6 月ごろに「ゆかた祭」という祭りがあります。ゆかた祭りは姫路市内でとても有名で大きな祭りです。他の市から来られる方もたくさんあります。ゆかた祭りは、ゆかたを着てすごす祭りです。毎年、2 日～3 日間かけて祭りをおこなっています。毎年人が多く、道を通るのもむずかしいくらい多いです。私も、ゆかた祭りをとてもたのしみにしている 1 人です。

秋には、播州秋祭りがあります。ちょうど 10 月にはずっと秋祭りがあります。播州秋祭りは、姫

路市と姫路市周辺の他市で有名な祭りです。これは、毎年テレビにでていくらい有名です。播州秋祭りは、屋台をたくさんの男の人がふんどしのままかつぎ、屋台同士で練り合いをします。毎年、どこも気合いが入っていて見るのがとても楽しみです。その中で最も有名な播州秋祭りは、灘のけんか祭りと魚吹の祭りと大塩の祭りです。これらは、とても屋台が多く迫力があります。播州秋祭りは、誰もが愛するほどかっこよくてすてきで迫力がある祭りです。この祭りは2日間あります。1日目は宵宮と言ひ、2日目は本宮と言ひます。宵宮は宮入をし、本宮は宮を出ます。宮の中での練り合いがみどころでとてもすてきで迫力があります。

私は、この街の良いと思うところは祭りが多く、大阪みたいに都会ではないけれど、みんなでぎやかになれることが良いと思ひます。

姫路は姫路城という世界遺産もあり、私はこの街にほこりを持っています。

## Sさん (5期生)

### 『海外研修』

私は、今通っている国際高校に入ってから、海外研修という行事があると知りました。最初は、かなり驚きました。なぜなら、中国では学年全員、誰にもかかわらず行ける学校って、一度も聞いたことがありません。そして、ずっとすてきと思ひながら、楽しみにしていました。

今年の10月、やっと、イギリスで海外研修してきました。実際イギリスでいた期間は5日しかなかったですが、話したいことは山ほどあります。まずは、ホームステイについて、話したいです。ホストファミリーと会うまで、ずっと頭の中で色々考えていて、緊張していました。実際はとても親切で、すてきな人ばかりで、良かったです。初日は町に連れて行ってもらいました。町で歩きながら、ホストマザーに色々な建物や店について説明してもらいました。イギリスの食事はあまりおいしくないと思ひていましたが、実際食べてみたら、思ったより良かったです。次に、高校や小学校交流について、話したいです。イギリスの学校は、やはりカラフルだと実感しました。高校での授業参加は正直全く分かりませんでした。日本とは雰囲気が違うということを感じました。最後は、ロンドンでの観光についてです。ロンドンの町を歩いてみたら、本当にすぐロンドンという感じがします。建物とか赤い電話ボックス、公園で見かけるリスなど、僕は写真を沢山撮りました。本当にロンドンというまちを好きになってしまいました。

楽しい思い出ばかりで、無事に海外研修を終えました。本当に一生に一回しかできないかもしれない経験ばかりできて、最高でした。僕はロンドンが好きなので、将来ロンドンに留学できるように頑張りたいと思ひます。

## Nさん (5期生)

### 『cyber-bullying』

いじめというものは、昔からあります。どうやって始まったのかは、はっきりわかりません。いじめに対していろんな意見があります。いじめをとめるために、いじめられる方が我慢して、いじめているほうがやめるのを待ったり、自信を持って相手と話したりする方法があります。だけど、こんな方法でいいのでしょうか。本当にとめられるのでしょうか。

時代がすすむと同時にハイテクなものがたくさんでできます。インターネットという便利なものもその中にあります。インターネットはとても便利なものです。友達や家族と連絡しやすくしています。世界中のどこに行ってもぜんぜん違うところにいてもつながれます。

SNSはインターネットで生まれてきたものです。知っている人をそのSNSで友達になればその人が何を載せても見ることができます。写真や、その人が書いた自分が思っていることのすべてをみんなが見ています。たしかにすてきものですが、とても危険です。

SNSは今の新しいいじめの場所です。たしかに、直接「ケガ」させることはできませんが、人を傷つけることはできます。

インターネットで悪口を言ったり、人のことをバカにしたり、自分がしらない間に写真を載せられたりすることがあります。

SNSではみんなは平等ですから顔も見ることもなく、いじめをする人は気持ちよく誰にもバレずにいじめることができてしまいます。他の人には言葉だけだからあんまり重く感じませんが、いじめられている人はどんな気持ちを感じているか思ったことがありますか。

## Cさん (4期生)

### 『進路が決まって』

前から大学に進学したかったのですが何を勉強するかとどこの大学に行くかがぜんぜん決まっていなかったです。日本の大学は入ることが難しいと思ったからフィリピンに帰って、大学に行くか違う国に行って、そこで進学しようと考えました。それの方が大学に入りやすいと思いました。でも、家族はみんな日本にいるから私も日本に在留したいです。難しそうですが日本で大学に入りたいです。

高校三年生になったときに先生に進路を早く決めなければならないと言われました。私は子どもの時からキャビンアテンダントになりたいのですが去年ケーキ屋でアルバイトをしたときにケーキ作りに興味を持ちました。インターネットで調べてキャビンアテンダントになるための専門学校を見つけました。パティシエになるための専門学校も見つけました。その時、どちらの方がなりたいかわかりませんでした。だから、お母さんと相談しました。お母さんは友達から関西外国語大学のことを聞きました。またインターネットで関西外大のことを調べて好きになりました。

夏休みにそこにオープンキャンパスに行きました。すごく遠かったです。家からそこまで二時間かかりました。関西外大は大きくてとてもきれいでした。説明を聞いて、相談をしました。英語だけの入学試験があります。それは良かったです。

試験の日は、早く家を出ました。電車の中でも勉強しました。関西外大に近づいて、とても緊張しました。試験は九十分かかりました。二十七問だけですが二百点満点でした。リスニングもありました。私にとって難しかったと思います。一週間後に結果が来ました。合格をしました。嬉しすぎて泣き出しそうでした。本当に良かったです。私は来年の四月に関西外国語大学短期大学部の英米語学科に進学します。二年だけですがその二年間の中で一生懸命に勉強して、友達を作って仲良くします。関西外大は家から遠いので来年、大阪に一人で引っ越します。家族と離れるけどいつでも帰れるから大丈夫です。この新しい生活を楽しみます。大学でも絶対に頑張ります。

## Mさん (4期生)

### 『地球は変化している』

テレビでフィリピンのニュースを見て、映画みたいで信じられませんでした。日本で以前津波が起きた時を思い出して涙が出ました。一瞬にしてたくさんの人達が亡くなる事がすごく辛く、とても心が痛いです。大切な人を失う事はとても辛い事ですし、私も昨年、三人の親戚が亡くなりました。だから私はその気持ちはすごく分かりますし、その辛さはずっと心に残ると思います。

学校にフィリピンの友達が居て、その人も苦しんでいましたし、私はただ慰める事しか出来ませんでした。近年は多くの人々がインターネットで情報を得ていますので、私はフェイスブックやツイッターやラインなどに載せて伝えました。わかりやすく写真とメッセージを書きました。写真はフィリピンの状況をメッセージは一言を、そしてみんな募金をして助け合おうと書きました。これをする事でニュースを見ていない人も知らない人もこれを見て、フィリピンを支援できると考えました。他の人達も私に似ている事を書いていましたが、ほとんどが「PRAY」という言葉を使っていました。

祈る事はとても大切な事ですが、今の状況はいくら祈っても変えられないです。だから私は募金という言葉を広めて、支援ができればいいなと思いました。助け合う事は本当に大切です。一円でも助けになると思ったので、友達にも声をかけました。

台風、地震、地球温暖化など、私達には止める事はできませんが、協力と努力で少しずつ変えられるかもしれないです。私達にできることはできるだけ紙を大事に使う、リサイクルするなど、単純な事でも私達は世界を変えられる力はあると私は信じています。

## **Eさん (4期生)**

### **『進路が決まって』**

私は9月にNICという留学するための専門学校に合格しました。NICはネバダ州立大学の日本校です。NICは1年間日本で英語を勉強して、TOEFLなどでいい点数を取って、3年間海外の大学に留学する学校です。

私がNICと出会ったのは、7月の担任の先生との最後の進学面談のときでした。一緒に大学ガイドで見つけ、特に3年間の留学について興味がわいたので、パソコンやパンフレットなどで調べ、説明会に行きました。それまで私は進路のことでずっと悩み続けていました。私は将来の夢がまだ決まっていないので、他の大学の資料を見たりしても、進みたい学科、進みたい大学が見つけれず、受験勉強をしても身が入りませんでした。私がNICに行く決心したのは7月ころです。それまでにずっと外国語大学とNICで迷いました。私は初めて日本に来たとき、全然日本語がわからなかったです。2、3年経つころからだんだん周囲との会話ができるようになりました。その経験から、言葉を一番早く覚える方法は現地で学び、実際に使うことだとわかりました。私は小さいころから英語の発音が好きで、いつもテレビで流れる英語の発音を真似していました。高校受験するときも国際クラスに入りたくていまの高校に進学しました。大学は留学がしたいので、たくさんの外国語大学のパンフレットを見ましたが、どれも短期留学か2年間の留学でした。NICは専門学校ですが、留学するための学校なので、私の行きたいと思っている学校でした。

私が高校3年生に上がったときにお母さんは「塾探したから、塾に行って大学向けの勉強をきなさい」と言いました。そこで、5月ころから塾に行きました。受験は英語の筆記試験と英作文と面接だけなので、塾では文法を中心に勉強しました。塾のある日以外も、自習室で勉強をしました。

無事に大学が決まったので、ホッとしましたが、これからが大変なので、気をぬかずがんばって勉強して、留学して、将来の夢を探したいです。

## ♪募金箱設置店のご紹介♪

## 韓国料理 百済 (クダラ)

TEL 078-392-5458

営業時間：AM11：00～PM10：00

定休日：なし



美味しい本場の韓国の料理を提供しています！夜景が一望でき、ムードも満点！  
カップルはもちろん、ご家族や宴会にも最適です。

**今年度も引き続き、募金箱設置にご協力いただきありがとうございます！**

(順不同、2014年1月10日現在)

百済、すーぷ房くだら(花隈店)、すーぷ房くだら(湊川店)、(財)神戸国際協力交流センター、神戸映画資料館、ほっとすてーしょん、おかしの家、神戸市教職員組合、神戸市教育会館、兵庫県学校厚生会神戸支部、広東料理悠苑、甲南女子大学多文化コミュニケーション学科、タンカフェ、神戸 YWCA、ベトナム料理メコン、インド料理チャルテ・チャルテ、南インドカフェダイニング チャルテチャルテ、チャオサイゴン、ブラジリアーノ、焼き肉みなみ

**今後も引き続き、募金箱設置をお願いいただける団体・店舗を募集しております！**

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

## ～今後の予定～

2014年3月1日(土)～3月31日(月) 第7期奨学生募集

2014年4月6日(日) 第7期奨学生面接

2014年4月20日(日) 第7期奨学生オリエンテーションと交流会

**奨学資金の寄付を受付中です**

ご寄付いただける方は、以下のゆうちょ銀行の口座までお願いいたします。

口座名義：定住外国人子ども奨学金実行委員会

口座番号：

(ゆうちょからの振込の場合) 14370 87454771

(他行からの振込の場合) 店番 四三八 普通預金 8745477

**問い合わせ先 定住外国人子ども奨学金実行委員会**

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502

NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) 気付

TEL078-612-2402 FAX078-612-3052

E-mail [kfc@social-b.net](mailto:kfc@social-b.net) Web <http://www.social-b.net/kfc/scholarship/>